

ようこそ 議会へ



↑議会ホームページ
はコチラ



令和4年第2回羽咋市議会定例会 発言順序と質疑・質問項目一覧

開議日：令和4年3月8日(火)

順序	発言議員	質問項目	質問形式
1	岡本 佐市	(1) 千里浜宅地開発の排水問題について (2) ソーラー発電の規制条例について	一問一答
2	本吉 典子	(1) 公共施設等総合管理計画の状況について (2) 利用しやすい子育て世帯支援について (3) 動物愛護への取り組みについて (4) まちなかの空洞化について	一問一答
3	酒井 一人	(1) 2030年の羽咋市の公共施設について (2) 2030年の道路について (3) 2030年の減災・防災整備状況について (4) 持続可能な「ひと・まちづくり」について	一問一答
4	松田 義人	(1) 教職員の多忙化改善について (2) 子どもたちの体力低下について (3) ヤングケアラーの現状について (4) インターナショナルスクールの設置や誘致について (5) 学校規模の適正化について (6) (仮称) 羽咋駅周辺賑わい交流拠点施設について (7) 議案第15号「一般職の職員給与に関する条例等の一部改正」について	一問一答
5	川口 雅登	(1) 県道234号函屋酒井線の消融雪設備について (2) 伝統文化の継承について (3) キャリア教育とGIGAスクール構想について (4) ひきこもりの現状と対策について (5) 健康寿命と延伸対策について	一問一答
6	浅野 俊二	(1) 千里浜海岸の浸食防止対策について (2) 島出町の太陽光発電所問題について (3) 千里浜開発に伴う調整池問題について (4) 羽咋駅周辺問題について (5) ゴミの不法投棄について	一括質問

開議日：令和4年3月9日(水)

順序	発言議員	質問項目	質問形式
7	備後 克則	(1) 新型コロナウイルス感染症対策について (2) 人口減少時代のコミュニティ支援について (3) (仮称) 羽咋駅周辺賑わい交流拠点について	一問一答
8	丸田 一幹	(1) 千里浜の海岸周辺地区、千里浜遊歩道の整備について (2) 小中学校を取り巻く環境について (3) まちづくり、市民生活活性化について (4) 小型除雪機の運用について (5) カラスのふん害対策について (6) 羽咋市の連携協定と観光拠点活用について	一括質問
9	新田 義昭	(1) 少子高齢化対策について (2) 定住促進住宅分譲事業について (3) 協働による地域づくりについて (4) 除雪について (5) 自然栽培と農業対策について	一括質問
10	櫻井 英一	(1) (仮称) 羽咋駅周辺賑わい交流拠点整備について (2) 雇用の創出と地域経済対策について (3) 出生数の減少と対策について	一問一答
11	松永 幸則	(1) 地域の宝である子どもたちを守り育てるための施策について (2) 地域課題を解決するための小規模多機能自治について	一問一答



岡本 佐市 議員

ソーラー発電の規制条例を



ソーラー発電

市街地におけるソーラー発電の規制が必要

【質問】 太陽光パネル設置に係るトラブル対策等のため、12月議会で条例制定に向けて検討することであったが、その後の状況について聞く。

国のガイドラインに沿って事業主、地元と協議していくとのことだが、島出町の設置工事に具体的に市はどのような対応を取ったのか。また、問題は解決したのかを問う。

【答弁】 条例で設置を規制している自治体があり、現在、情報を収集しているところである。おおむね市では全国で都道府県を含めて約177の条例があるということは把握している。

規模や区域、内容について慎重に判断する必要があると考えており、環境審議会などにも諮りながら引き続き検討していきたい。

千里浜宅地開発の排水問題

【質問】 24戸の雨水排水については、南側の県道側溝に排水すること。火葬場の12ヘクタール、200戸も今後の開発エリアであることを1月20日の議会全員協議会で市長からの説明があり、現在進めている県当局との調整の対象エリアはどの範囲か。県との調整事項でその対応策の見通しを示せ。

【答弁】 県と調整している雨水排水区域は、将来の開発想定区域を含めた12ヘクタールに県道若部千里浜インター線沿いの排水を含めた、30ヘクタールで事前協議を進めている。千里浜海岸への排水施設の容量不足が課題となっており、排水能力の向上を図るため改修工事を実施し、対応していきたい。



本吉 典子 議員

今あったらいいなと、将来を同時に考える



赤ちゃんとお母さん

どうなる公共施設等総合管理計画

【質問】 ①東洋大学資料では、人口一人当たりの公共施設面積の全国平均が、3.42㎡に対し市は、4.85㎡(1.4倍)、現在は。②羽咋市公共施設個別施設計画では、2020年からの5年間で6施設の解体の計画があるが、解体前のスケジュールを聞く。③羽咋駅周辺賑わい交流拠点の類似機能の重複で削減する床面積はどの程度か。削減の対象施設は。

【答弁】 ①平成27年4月時点(5.5㎡)で、令和3年4月(6.1㎡)。6年前と比較し2,798㎡増加した。②未耐震のため早期の解体と位置づけし、市役所食堂棟は、新年度に解体。③対象は、公共施設建築物の総面積5割弱が教育施設。余喜小は新年度検討。西北台小の話もあるが、早期に適切なタイミングで情報提供する。

利用しやすい子育て世帯支援とは

【質問】 令和元年度の800人の市民意識調査結果では、子育てしにくい環境に身を置く母が増加。①産後ケア事業の利用実績がない理由は。②法律では産後ケア事業を産後1年未満の母子対象。市では4か月対象。期間短縮の理由と、課題は。③子育て情報の見える化は。

【答弁】 ①ニーズがない。母子保健事業による支援や、周囲の支援で対応できていることが要因。②委託先の医療機関の受入れ可能期間。事業の周知と、対象期間の延長及び委託先の拡充。③「母子モ」アプリで母子教室の予約や一時保育、病後児保育の予約可能。LINE発信内容は、ニーズの検討中。



酒井 一人 議員

羽咋の10年後の姿を 市民に見える化せよ



防犯灯のない道路 避難所栗ノ保公民館前

2030年の保育所・小学校・中学校の姿は

【質問】 羽咋市の2030年目標人口1万8,000人を踏まえ、羽咋市の保育所・小学校・中学校は、10年後どのような姿になっているのか。

【答弁】 保育施設は令和2年3月に策定した公共施設個別施設計画において、比較的新しい畠知・こすもす・とき保育園は、予防保全対応を行い施設寿命の延伸を図る。その他老朽化4保育所は、再編・集約化を進める方針である。学校施設は、令和2年3月に策定した学校施設長寿命化計画において、羽咋中学校区の4小学校を2校または3校に再編、畠知中学校区の2小学校を1校に再編する。保育・学校施設は、少子化進行状況や施設老朽化を踏まえ、適正な規模となるよう進める。

2030年の国道沿い街灯・防犯灯の状況は

【質問】 国道・県道・市道・農道・その他の道路も含め、生活する市民にとってはどの道も生活に欠かせない重要な動脈である。では、2030年には、現在、暗い国道159号・249号・415号沿いの街灯・防犯灯は、どのくらい設置されているのか。

【答弁】 各国道における重要交差点等の道路照明については、必要箇所には計画していると聞かすが、状況に応じ追加で要望していきたい。国道周辺の防犯灯については、町会の要望や周辺地域の状況等を確認しながら、必要箇所については設置していきたい。防犯灯は市民が安全に通行できるように市が管理すると区分され、県・国は積極的ではないが、主要箇所の設置について追加要望したい。



松田 義人 議員

教育は国家百年の大計である



開発が進む羽咋駅周辺

西北台小学校下で早期に協議の場を

【質問】 学校施設長寿命化計画では、羽咋、栗ノ保、瑞穂、西北台の4小学校を2ないし3校に再編する方針である。

西北台小学校に2つの複式学級が発生する令和7年度頃からの協議を開始するとの考えを示していたが、その考え方に変更はないか。

未来ある児童生徒の望ましい教育環境、そして公平な教育環境の整備充実としての視点で、西北台小学校についても、早期にアンケート調査や地元との協議の場を設ける必要があるのではないかと。

【答弁】 児童に対し、適切な教育環境の下での学びというものを大切にする上で、施設改修など総合的な状況を勘案しながら、できるだけ早めに話し合い、保護者の意見を集約していきたい。

駅周辺賑わい交流拠点施設の運営方針は

【質問】 この施設は企業誘致、つまり雇用創出の側面も持っており、また、福祉的な要素のほかにも、環境負荷軽減などの側面もあるものとする。

さらに、先端技術に触れながら創作活動を行うことで、新たな価値を創造し、世界に大きく貢献する人材を育てることができるのではないかと。

そもそもこの施設は、何を指す施設として運営することを念頭に建設されるのか。

【答弁】 本施設は、子どもから高齢者まで、さまざまな世代が集い触れ合うサードプレイス(居心地のいい場所)となるよう整備を進めている。

市民一人ひとりの生きがいをサポートし、生涯にわたり学びを保障するという教育や福祉の観点が強いかと考えている。



川口 雅登 議員

安心・安全な道路環境と 進化する教育



県道234号函屋酒井線

県道234号函屋酒井線の消融雪設備を

【質問】 県道234号函屋酒井線は、国道159号と県道2号七尾羽咋線とのアクセス道路であり、住民の生活に必要不可欠な道路である。しかし、消融雪設備がほとんどなくて交差点では、冬期間にスリップ事故が多発している。消融雪設備の設置を。

【答弁】 石川県により一部消融雪装置を除き、機械除雪や凍結防止剤の散布により冬期間の交通安全が確保されている。石川県に対して、他の路線への消融雪装置の設置についても要望している。

キャリア教育とGIGAスクール構想とは

【質問】 キャリア教育で羽咋市教育委員会は、素晴らしい実績を上げて文部科学大臣表彰を受けた。何が受賞につながったのか。また、GIGA

スクール構想で何を目指しているのか。

【答弁】 小中学校ともに「学び・考え・具現化し夢の実現へとつなげる取り組み」をより体験的なものとなるよう、羽咋市及び地域の事業者と連携しながらキャリア教育を体系化したことが受賞につながった。また一連の活動によりPDC Aサイクルを構築し、一人一人の社会的、職業的自立に向け必要な基盤となる基本的、汎用的な能力を育てている点が受賞につながった。一人一台の端末は、授業や家庭学習、新型コロナウイルス感染症による臨時休業等におけるオンライン授業で運用している。活用方法として、教員の準備した資料等の一斉配付、動画視聴、調べ学習、デジタル教科書の閲覧などがある。



浅野 俊二 議員

市民の立場、スピード、 指導力はようになった



島出町の太陽光発電所

多くの市民の署名が無駄に

【質問】 島出町の太陽光発電所の強行着工をなぜ認めたのか。議会で粘り強く意見や助言を行うと答弁したが、具体的にどのような行動をしたのか。市長は企業側でなく市民の立場でと言ったではないか。

市長も議会も馬鹿にされ、署名を集めた町会も同様だ。市民の声に耳を貸さない企業をどうするのか。ペナルティをかけるべきではないのか。さらに空地にも増設するのではとの心配がある。条例化が進んでいない。日頃のスピードが大事はどうなったのか。指導力を発揮せよ。

【答弁】 太陽光発電の設置を市が認めたのではなく、また、権限を持っていない。事業者と数回面談したが意思が固くだめだった。条例制定は、環境審議会に諮りながら検討する。

千里浜海岸の浸食防止に向け

【質問】 千里浜海岸の浸食防止に向け知事選挙の今、市長は動くべきではなかったのか。広域圏議会なぎさ特別委員全員で、浸食が進む海岸保全に係る国の直轄工事の要望書を知事選前に候補者3名に提出しようとした。理由は選挙が終われば知事は県内一の権力者で知事の権限でできると聞いていた。里山海道の無料化がその例だ。しかし、副組合長である市長は反対し残念だったが、私達はだれが知事になってもいいように3名から回答を得、言質を取った。なぜ市長は反対をしたのか。

【答弁】 谷本知事より誠意ある答えをもらっていたし任期があり尚且つ、首長、県議会議員、議長の前での答弁は大変重い。今後とも県の浸食対策に期待している。



備後 克則 議員

“限界集落化”が進む地域の 声に対応を



限界集落の空き家

神子原や眉丈山系地区の災害リスク

【質問】高齢化率（65歳以上の人口比率）が50%を超える集落は“限界集落”と呼ばれる。

特に高齢化が進む神子原地区や眉丈山系（越路野、鹿島路地区）は危険空き家や市道・排水路の破損、がけ地など災害リスクが高い。早急に限界集落の状況を確認し、町会長や住民の声を聞き対応を。

【答弁】14町会が高齢化率50%を超えている。限界集落の行政支援は職員のパトロールのほか町会からの連絡で道路修繕を行い、危険空き家の指導・助言も実施している。今後の大きな災害とならぬよう町会と協力し維持管理を行っていききたい。

指定管理料9,500万円減額の方策は

【質問】人口減少が進む中、駅周辺賑わい交流拠

点は市民が本当に必要とする規模や内容で持続が可能な施設とすべき。そのためには維持・運営費用（1億100万円）の圧縮と利用料金（600万円）の増額による指定管理料9,500万円の抑制が必要。

利用料金増のカギは利用者数。多くの人が継続的に利用できれば収入が増え、賑わい創出の目的にもつながる。そこで各階の企画におけるターゲット層と利用者数、使用料の見込みを聞く。

【答弁】事業者提案では、本施設の年間利用者数は3万5千人（96人/日）、使用料収入600万円（171円/人）だが、引き続き調査研究をしていく。

ターゲット層は、図書カフェ・学習スペースは中高生や働く世代、高齢者。屋内公園は子育て世代が中心、シェアスペースは全世代を想定している。



丸田 一幹 議員

千里浜海岸周辺整備により 羽咋の魅力を発信



千里浜海岸の大家家持碑

千里浜遊歩道の整備

【質問】千里浜レストハウス前のキャンプ場から千里浜インターチェンジの海側奥へと続く遊歩道がある。途中にオニユリの群生地もあるが、現在、草木が繁殖し、遊歩道へのアクセスが難しい状況である。天候が良くなり、散歩ができる季節に向け、千里浜遊歩道の整備検討を。

【答弁】千里浜海岸の遊歩道は、本市を訪れる方々に美しい千里浜の風景を歩きながら楽しんでいただけるよう、国の補助事業を活用し、県が整備し、市が管理している。これまでの管理方法では散策を楽しむことのできる期間も限定されていたが、令和4年度予算には定期的に雑木の枝打ちや除草などを行うための委託費を計上し、適切に管理をしていきたい。

大家家持碑周辺の整備

【質問】千里浜レストハウスの奥に大家家持碑がある。石碑を中心に駐車スペースがある不定形な砂地である。イベント時の店舗設営、SSTRの臨時ゴールにも活用されるが、雨の後にはたくさんの水たまりができ、使い勝手がよくない。本年度の5月にはSSTRが開催予定である。今後も家持碑周辺の活用を鑑みて整備検討を。

【答弁】当該用地は千里浜財産区所有地であり、千里浜レストハウス事業用地として賃貸されている。SSTRなどイベントの際、雨天時に水たまりやぬかるみが発生し、非常に利用しにくい状況になると認識している。当該用地は千里浜海岸に面し、観光面で一等地と考えている。事業者や地権者の意向を確認し、活用や整備を検討する。



新田 義昭 議員

コロナに負けない対策と 輝くはくいへ前進



東部地区（飯山町～志々見町）

定住促進住宅分譲事業と周辺の開発事業

【質問】 第2期夕ヶ丘10区画のうち、募集開始から1ヶ月で8区画の購入予約があり喜んでい。道の駅周辺にも24戸の宅地造成工事が進められている。国道415号やその周辺に商業施設を呼び込むと考えたとき、農業施設や県内で最も古い火葬場がある。

千里浜インター周辺や開発する地域の排水問題、火葬場の移転、近い将来進出する商業施設を一体的に考えていくべきである。

また、羽咋市は東西、南北とも他の市町に比べて近距離である。宅地造成は羽咋と千里浜ばかりであり、各地区から宅地造成の要望があった場合には、ミニ（5～10）区画の検討をしていただきたい。東部地区の飯山町から志々見町を考えている。

【答弁】 千里浜インターチェンジ周辺の開発については、羽咋都市計画マスタープランの基本方針に基づき、住環境の保護・育成及び良好な沿道型の商業、業務地の形成による土地利用を図りたいと考えている。県道沿いは、賑わい創出を図るための商業などの機能を誘導したいと考えている。周辺の計画は、策定しておくべきと考える。

東部地区については、昨今、市内外を問わず移住者が増加しており、小中学校や保育所、企業の立地に加え、国道159号羽咋道路や県道若部千里浜インター線が整備されれば、新たな分譲地が必要と考え、地域でのミニ宅地造成を検討していきたい。地内全体を見渡して特定の地域に偏らない形での定住・移住というのが必要と考えている。



櫻井 英一 議員

将来に負担を残すことのない ような計画を



羽咋駅周辺賑わい交流拠点施設建設予定地

羽咋駅周辺賑わい交流拠点整備

【質問】 旧マルシェ跡地の整備や羽咋駅周辺の賑わい創出事業は必要だと考えるが、今後の人口減少・高齢化社会を考慮した場合、年間9,500万円という指定管理料は妥当なのか。将来に負担を残すことのないよう維持管理費の抑制を図り、市民の理解が得られる指定管理料とすることが重要である。指定管理料の内訳を聞く。

【答弁】 事業者から提案があった指定管理料の内訳は、運営に係る人件費が3,600万円、保守点検・清掃費が3,370万円、光熱水費が3,000万円、修繕費が130万円と合計が1億100万円である。そこから利用料収入600万円を差し引いて9,500万円となる。なお、新たに9,500万円の費用を市民に負担をさせる予定はない。行財政改革によるコスト削減、ふるさと納税等で捻出する。

企業誘致や雇用創出の施策は

【質問】 市長はこれまで「企業誘致には市長自らのトップセールスが必要だ」と発言している。そこで、市長就任以来、企業誘致や働く場の確保にどのように取り組んできたのかを聞く。

【答弁】 コロナ禍で県外企業へのトップセールスはできなかったが、1月に市内企業を訪問し、困ったことがないか等を聞いた。新規の企業誘致も必要だが、本市に現在ある企業が羽咋市から逃げていかないような手立てが必要だと考える。また、ハローワークや羽咋雇用対策協議会などの関係機関とも連携し、地元高校への訪問や合同就職説明会などを実施しながら、若者や中途採用者への働く場の確保に取り組んでいく。



松永 幸則 議員

地域の宝である子どもたちのために



子ども家庭総合支援拠点・すこやかセンター

様々な相談方法の充実を

【質問】 子ども家庭総合支援拠点への相談方法は、電話や面談はもちろんのこと、オンラインを使った相談受付も必要と考えるが、どうか。また、相談者のプライバシーを確保するためと精神的にリラックスしていただけるようにするための部屋は用意するのか。

【答弁】 相談方法は電話や面談での対応を考えているが、オンラインでの相談方法については検討していく。相談室は、すこやかセンター内の相談室を利用し、安心して相談できる体制とする。児童虐待などの相談業務については、4月に開設する子ども家庭総合支援拠点に一本化し、少年育成センターについては事業を家庭教育推進事業に統合し、家庭教育を通じた子育て世代への支援や青少年の非行予防に努めていく。

新しい市民活動支援センターの職員像

【質問】 市民活動支援センターの指定管理者である社会福祉協議会は、この高度で新しい事業、これらの方向性の実現において、どのようなスキルやキャリアのある職員を求め、また配置をし、育てていく必要があると考えているのか。

【答弁】 地域課題を解決するため、中立的な立場から適切な判断と指導を行う、つなぎ役としての役割がある。様々な問題を正確に把握し、行政と地域をマネジメントできるような能力を有する必要がある。また、協働の担い手となる人材の育成に積極的に取り組み、市民のまちづくりへの参画意識や機運の高揚を図るなど、個人や登録団体の育成を図っていきたい。

トピックス

羽咋市議会の議会構成について

(令和4年3月25日現在)

・議長 浜名 等 副議長 松永幸則

・羽咋市議会議員数 ⇒ 条例定数=14人 現員数=14人

長=委員長 副=副委員長 ○=委員

委員会名	本吉典子	丸田一幹	松田義人	備後克則	岡本佐市	川口雅登	酒井一人	松永幸則	浜名等	寺井哲也	櫻井英一	新田義昭	山本泰夫	浅野俊二	構成議員数
予算常任委員会	○	○	副	○	○	○	○	○	○	○	長	○	○	○	14
総務民生常任委員会	○		○	副			長		○				○	○	7
産業文教常任委員会		○			副	長		○		○	○	○			7
議会運営委員会					○	○	○			○	副	長			6
議会改革特別委員会		○	○	○			○			副	長				6
文化財保存促進特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	副	長	○	○	○	○	○	14
市議会だより編集委員会 年4回の「市議会だより」発行	副	○	○			○	長								5

各常任委員会の所管事項等について

予算常任委員会	予算に関する事項
総務民生常任委員会	総務部、市民福祉部、会計課、選挙管理委員会、監査委員、固定資産評価審査委員会の所管に属する事項及び他の常任委員会に属さない事項
産業文教常任委員会	産業建設部、教育委員会及び農業委員会の所管に属する事項

予算常任委員会報告

◎櫻井 英一 ○松田 義人 本吉 典子 丸田 一幹
 備後 克則 岡本 佐市 川口 雅登 酒井 一人
 松永 幸則 浜名 等 寺井 哲也 新田 義昭
 山本 泰夫 浅野 俊二

当委員会に付託された案件は、議案第2号「令和4年度羽咋市一般会計予算」など、議案14件、報告1件。

3月10日から18日に委員会を開催し、詳細な説明を聴取し、慎重に審査した。

その結果、議案第2号から議案第14号、議案第24号及び報告第2号については、全会一致をもって、原案のとおり、可決、承認した。

また、議案第2号令和4年度羽咋市一般会計予算の「交流拠点施設設計・工事費など関係予算」にかかる附帯決議案は賛成少数により否決した。

審査の過程での主な質問・答弁は以下のとおり。

*令和4年度予算について

【質問】 税証明コンビニ交付サービス導入事業のイニシャルコストとランニングコストはいくらか。

【答弁】 システム改修費約1,200万円、手数料やシステム保守等ランニングコストは年約50万円。

【質問】 土砂災害ハザードマップに追加される地区はどこか。

【答弁】 神子原地区を対象とし、地滑りや急傾斜など災害の危険がありそうな情報、被害・災害のあった場所も地図に入れ、避難経路も載せる予定である。

【質問】 体験型観光推進事業にeスポーツ体験とのことだが、どこでどのような類のものをするのか。

【答弁】 具体的な場所は未定。空き店舗等を利用して体験会を新年度に1、2回開催したい。

【質問】 中学校図書館充実事業の電子書籍について今後の方針を知りたい。

【答弁】 今の子ども達はデジタルの中で生きねばならず、端末に触れ画面を通し読み取る力が大切。いずれは小学校高学年も対象にしていきたい。

【質問】 石川県新型コロナウイルス感染拡大防止協力金対象外の飲食店に対する支援金の対象件数は何件を予定しているのか。周知方法はどうか。

【答弁】 およそ20店舗を見込んでいる。3月中に商工会や飲食店組合を通して周知したい。

その他、保育士等の処遇改善について、都市づくり推進事業について、合宿誘致支援事業についての質問・答弁がされた。

*令和3年度補正予算について

【質問】 外国語教育推進事業にて海外派遣交流事業はコロナ禍で中止だが今後の予定はどうか。

【答弁】 子ども達の夢を繋いであげたい、英語教育の集大成としてシアトルに行かせたいとの思いから毎年度予算要求している。

そのほか、中学校施設整備事業について、地域おこし協力隊について、芸術文化振興事業についての質問・答弁がされた。

羽咋市 令和4年度 当初予算
 一般会計の総額

124億0,000万円

前年度比 +6億9,000万円 (+5.9%)



総務民生常任委員会報告

◎酒井 一人 ○備後 克則 本吉 典子 松田 義人
浜名 等 山本 泰夫 浅野 俊二

当委員会に付託された案件は、議案第15号「一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正について」など、議案5件。

3月16日に当委員会を開催し、詳細な説明を聴取し、慎重に審査した。

その結果、議案5件については、全会一致をもって、原案のとおり、可決した。

審査の過程での主な質問・答弁は以下のとおり。

【質問】 一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正について、それぞれの職員一人当たりの差引額はいくらになるのか。

【答弁】 一般職においては、全体で800万円を予定しており、一人当たり5万円程度の削減となる。その他、会計年度任用職員は全体で200万円、一

人当たり2万円程度となり、特別職では0.1ヵ月分プラス加算率1.4倍で計算しているため、市長が11万円程度、副市長が9万円程度、教育長が8万円程度となる。議会議員は、全体で70万円程度の減額になる。

その他として、コロナ禍により困窮している外国人労働者、住民税非課税世帯や母子家庭における給付金等の支援について、新年度の市民活動支援センターの所管について、余喜保育所における土曜日保育の時間延長について、町別コロナ感染者の開示方法について、乳幼児健診における土曜日、または日曜日の午前実施についての質問・答弁、要望がされた。

産業文教常任委員会報告

◎川口 雅登 ○岡本 佐市 丸田 一幹 松永 幸則
寺井 哲也 櫻井 英一 新田 義昭

当委員会に付託された案件は、議案第20号「羽咋市消防団の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正について」など、議案4件。

3月16日に当委員会を開催し、詳細な説明を聴取し、慎重に審査をした。

その結果、議案4件については、全会一致をもって、原案のとおり、可決した。

審査の過程での主な質問・答弁は以下のとおり。

【質問】 羽咋市消防団の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正について、報酬の面など、近隣の町も同様な改正を行っているのか。

【答弁】 羽咋郡市の2町でも同様の条例改正を行う予定であると聞いている。

【質問】 子浦川・長曾川の両水防事務組合の解散について、今までの仕事内容と、解散後のこれに代わるものは何か。

【答弁】 水防事務組合は、春に議会定例会を開催し、各市町の負担金によって、ブルーシートや土嚢を

購入するなどの資材整備や水防倉庫の修繕などの管理を行っていた。今後は、石川県の流域治水プロジェクトである中能登地区流域治水協議会や大規模氾濫減災協議会等で、県や近隣市町と情報交換をしながら連携していく。

その他として、羽咋駅前等全体に関するイルミネーションや街頭の設置状況、防犯カメラの設置についての質問・答弁、要望がされた。



令和4年 第2回定例会 **3月議会 議決一覧**

◇議員提出決議案1件、令和4年度羽咋市一般会計予算、令和3年度羽咋市一般会計補正予算など、市長提出議案22件、報告1件、追加で提出された市長提出議案1件を原案のとおり可決、承認した。本定例会においては、議決に意見の分かれた議案等はなかった。

■全会一致で議決された議案

議 案 番 号	議 案 名	議決結果
議員提出決議案第1号	ロシアによるウクライナへの侵攻を強く非難する決議	可 決
市長提出議案第2号	令和4年度羽咋市一般会計予算	可 決
市長提出議案第3号	令和4年度羽咋市国民健康保険特別会計予算	可 決
市長提出議案第4号	令和4年度羽咋市後期高齢者医療特別会計予算	可 決
市長提出議案第5号	令和4年度羽咋市介護保険特別会計予算	可 決
市長提出議案第6号	令和4年度羽咋市千里浜財産区特別会計予算	可 決
市長提出議案第7号	令和4年度羽咋市水道事業会計予算	可 決
市長提出議案第8号	令和4年度羽咋市下水道事業会計予算	可 決
市長提出議案第9号	令和3年度羽咋市一般会計補正予算(第14号)	可 決
市長提出議案第10号	令和3年度羽咋市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	可 決
市長提出議案第11号	令和3年度羽咋市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	可 決
市長提出議案第12号	令和3年度羽咋市介護保険特別会計補正予算(第2号)	可 決
市長提出議案第13号	令和3年度羽咋市水道事業会計補正予算(第4号)	可 決
市長提出議案第14号	令和3年度羽咋市下水道事業会計補正予算(第4号)	可 決
市長提出議案第15号	一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正について	可 決
市長提出議案第16号	職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	可 決
市長提出議案第17号	羽咋市手数料条例の一部改正について	可 決
市長提出議案第18号	羽咋市立保育所設置条例の一部改正について	可 決
市長提出議案第19号	羽咋市国民健康保険税条例の一部改正について	可 決
市長提出議案第20号	羽咋市消防団の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正について	可 決
市長提出議案第21号	子浦川水防事務組合の解散について	可 決
市長提出議案第22号	長曾川水防事務組合の解散について	可 決
市長提出議案第23号	市道路線の一部廃止について	可 決
市長提出報告第2号	令和3年度羽咋市一般会計補正予算(第13号)の専決処分の報告について	承 認
市長提出議案第24号	令和3年度羽咋市一般会計補正予算(第15号)	可 決

議会活動報告

- 1月6日(木)・石川県市議会議長会議議員派遣研修「市町村議会議員特別セミナー」
～7日(金) 派遣市議会議員：松永幸則議員 千葉県
(研修内容)：①自治体のデジタル化をどう進めるか
②子どもも保護者も笑顔になれる社会の実現に向けて
③自治体のハラスメント対策と議会
④自治体議会の政策力をどう強化するか
- 1月12日(水)・能登五市議会議長会定期総会 (正副議長出席) 七尾市
令和4年度歳入歳出予算及び各市提出議案22件を審議
- 1月20日(木)・議会全員協議会
(1) 新型コロナウイルスワクチン追加接種の前倒し実施について
(2) A I 乗合交通実証実験中間報告及び今後の運行等について
(3) 羽咋市地域公共交通計画(素案)について
(4) 千里浜インターチェンジ周辺の開発について
(5) 眉丈台地自然緑地公園の利活用について
- 1月25日(火)・議会改革特別委員会
タブレット端末導入経緯と今後の予定について
- 2月2日(水)・全国市議会議長会理事会、評議員会合同会議 (書面会議) 東京都
2月14日(月)・石川県市議会議長会定期総会 (書面会議) 白山市
2月21日(月)・新年度予算内示会
新年度予算の概要と重点事業等について
- 2月21日(月)・議会全員協議会
(1) 令和3年度羽咋市一般会計補正予算(第13号)の専決について
(2) コンビニ納付、キャッシュレス決済の導入について
(3) 証明書コンビニ交付サービスの推進について
(4) 羽咋市地域福祉計画2022の策定について
(5) 羽咋市DX推進計画の策定について
(6) 第5次羽咋市男女が共に輝くまちづくりプランの策定について
(7) 令和4年1月31日発生の本江堤流水について

お知らせコーナー

「市民の声」を募集

市議会だより編集委員会では、市民の皆さまの声を募集しています。議会に対しての感想などがありましたら、下記までお気軽にお寄せください。
〒925-8501 羽咋市旭町ア200 羽咋市議会事務局 ☎22-7160 FAX 22-7210
Eメール gikai@city.hakui.lg.jp

傍聴してみませんか

市庁舎5階の議場入口で、住所、氏名、年齢を記入するだけで自由に傍聴できます。次の議会定

例会は6月上旬に開催予定です。一度、傍聴してみませんか。

●インターネットでも視聴できます

羽咋市議会では、本会議の審議状況を市のホームページで映像配信(生中継)しています。また、録画映像も配信しており、常任委員会についてもご覧いただけます。

●アクセス方法

「羽咋市公式ホームページ」を開き、トップページ中段の「羽咋市議会」をクリックし、「インターネット議会中継」の欄から視聴したい項目をクリックしてください。

編集後記

新型コロナウイルス、ロシアのウクライナ侵攻、東北地方の大地震と不安な社会状況下ではありますが、新年度、令和4年がスタートしました。

市議会だより編集委員会では、市民の皆さまに読んでいただけるように、わかりやすい表現方法やレイアウトなど、さらに工夫しようと、議員全員に周知し、編集委員会活動を行うことを意思統一しました。

これからの羽咋を支える市民の皆さまと共に活動したいと考えておりますので、市議会や市議会だよりなど、これまで以上に皆さまのご意見、ご指導をお願い致します。
(酒井 一人)

市議会だより編集委員会

委員長	酒井 一人
副委員長	本吉 典子
委員	丸田 一幹
	松田 義人
	川口 雅登